

山のこだま

春号(第5号)
2010年 4月2日発行
発行責任者 原田高明
Tel 0536-36-0678

山の家はサクラをはじめ春の花々が咲きだし、心躍る季節を迎えてます。

寒狭川のエメラルドグリーンの流れはひときわ美しく(地元の方曰く、「この季節が一番美しい」)、真っ白な瀬の流れとの調和は、心を洗っていってくれます。

ウグイスは、3月のはじめから鳴き出したでしょうか。都会では味わえない宝物がここにあります。

先日、ここの集落(源氏)の総会に行ってきました。オープンを控え、村への挨拶をしました。人前で話すのは苦手な私の心臓はパクパク。しかし、何とか挨拶を済ませましたが、参加者からせひとも中を見てみたいと声が上がり、オープン前の4月24日に内覧会を開くこととなりました。暖かな声に勇気百倍のひと時でした。

開業までには、まだお役所の現地での審査が残っています。

「サクラ咲く」を発信できる日を心配しながらも楽しみにしています

山の便り・1

☆オープン

4月25日(日)オープンの予定です。
3月29日に保健所へ、30日に消防署へ
民宿営業のために必要な申請を行いました。

(県建築事務所への確認申請はいらなくなつた)

消防署は4月6日に現地調査。保健所は
7日に現地調査を行う予定です。
営業許可は順調に行けば4月12日の週
にはと思っています。

まだまだ確定ではありません。これまで、保健所、建築事務所の解釈の違い、変更により
苦労してきた現実を考えると安心は出来ませんが、何とか予定通りの開業といきたいもの
です。



山の便り・2

☆お山の春は桜から

春の訪れは、まだまだ寒々とした空気の中に、ひょっこり顔を覗かせたふきのとうであったり、木々の枝から顔を出した新芽であったり、自然の営みの中にみる事が出来ます。そして、ゆっくり、着実にやってきます。春の予感は私たちにワクワクとした何とも言えない期待感をふくらませてくれます。

でも、本当の春を感じさせてくれるのは、やはり満開に咲いたサクラでしょうか。写真は3月28日に撮影した、芝広場にあるサクラです。まだ五分咲きぐらいでしょう。30日に、お昼をこのサクラの下食べました。暖かい日差しを浴びて、トンビの挨拶を受けながら、寒狭川の流れを見、瀬音を聞き、咲き始めた芝桜とサクラに囲まれたひと時は最高のご馳走でした。



山の便り・3

☆やはり寒かった冬

1月30日に撮影した霜柱です。高さは5cmぐらい、靴で踏んだ跡です。ザクッ、ザクッと霜柱を踏みこんでいく楽しさは都会の子供たちは知らない世界でしょうか。

今年も、山の家の冬は相当寒かったです。



霜柱は、地中の温度が0°C以上で地表の温度が0°C以下のときに、まず地表の水分を含んだ土が凍ります。そこで、凍っていない地中の水分が毛細管現象で吸い上げられ、地表に来ると冷やされて凍ることを繰り返して成長していくそうです。

お知らせ

☆料金改定 冬季燃料費 800円→400円

貸切基本料 6万円(12人)→3万円(6人)+3千円/追加1人毎

☆ブログを始めました(HP“山のこだま”→右上の“山のおやじの日記帳”)